

金比羅山

御座漁港から木立が並ぶのどかな道を 30 分ほど歩くと、海拔 110 メートルにある金比羅山の展望台に辿り着きます。展望台からは、志摩市や英虞湾、太平洋など、360 度のパノラマが見渡せます。南西には、紀伊山地が見えます。金比羅山は初日の出を見る場所として人気です。

森の中に隠れるようにある爪切不動尊は、金比羅山のふもとから簡単に行くことができます。「爪切」とは日本語では爪切りという意味です。真言宗（日本の仏教の主な宗派のひとつ）の開祖である有名な僧侶、空海として知られる弘法大師（774～835）がこの地域を訪れたという言い伝えがあります。弘法大使はこの地域に深い感銘を受け、自分の爪だけを使って、仏教の守り神である不動明王の石像を彫りました。この像は爪切不動尊で祀られ、人目から隠されています。また、寺の建物のひとつの裏には撫石という撫でる石があり、触って願い事をすることができます。漁期の始まりと終わりの頃には、海女として知られる地元の女性ダイバーがここで祈願をします。